

研修プランA5

活用・発揮している力を捉え学びの過程を分析する

- 目的 授業映像中の児童・生徒の姿から、どのような力を活用・発揮しているかを捉え、それを支えた学びの過程について分析することを目指す研修会です。
- 対象 複数校合同（同一校種／異校種）
- 時間 80分
- 形態 全体→グループ→個人
※グループの分け方：教科や学年の枠を越えたグループ編成
- 準備物 授業映像（→研修前を参照）
 映像内で使用している成果物（ポスター等）を印刷したもの
（A3判程度の大きさ、カラー：グループ数、A4判程度の大きさ、白黒：人数分）
 付箋（5cm×7.5cm、4色、人数分×各15枚くらい）
 模造紙（グループ数）
 太フェルトペン（グループ数）
 黒サインペン（人数分、個人で準備なら事前に知らせておく）

●研修前

- 総合的な学習の時間等で、成果発表をしている児童・生徒の様子をビデオで撮影し、5分程度に編集する。
- 授業後に児童・生徒に ①課題設定のきっかけ ②この学習に生かされた他教科の学び ③この学習が授業や生活でどう生かせるか 等をインタビューしビデオ撮影したものを、上記のものに追加できるとよい。

● 研修

流れ	進め方	留意点	スライド 番号
1 研修の説明 【全体】（5分）	○目的と流れについて説明する。	○目的は上記「 目的 」参照 ○流れは左欄「 流れ 」参照 ○グループ協議で行う内容と構造化のイメージについて説明する。 ○構造化の特徴等を、次の通り説明を付け加えても良い。 ・構造…頭（今回は「活用・発揮している力」）の部分ゴールの姿とし、背骨（今回は「総合的な学習の時間における学び」）の部分や骨（今回は「その学びを支える他教科・他領域の学び」）の部分からなる ・特徴…ゴールの姿の実現に向けて、どのような学びの積み重ねがあったかということが視覚的に捉えやすい	1 2 3
2 映像視聴 【全体】（10分）	○映像内で使われている成果物を読み、発表の概要を捉える。 ○視聴時の着眼点等を説明した後、映像を流す。	○各自で成果物を読む時間を3分ほど取る。わからない語句などはグループ内で確認したり、スマートフォンなどを使って調べたりしても良いことを伝える。 ○着眼点や留意点について説明する。 ・なるほど、いいな、と思った児童・生徒の姿を記録する	4 5
3 グループ協議 ①児童・生徒の姿を分析する 【個人】（5分） 【グループ】（20分）	○付箋の記入の仕方について説明し、記入を促す。 ○分析方法を説明し、グループごとに協議を進めるよう促す。 ○協議中は、各グループの協議を適宜支援する。	○映像視聴時に記録した児童・生徒の姿を付箋に記入する。 ○付箋記入時は次の点に留意する。 ・色を指定 ・単語ではなく短文で ・黒サインペンを使って ・1枚の付箋に1項目 ○模造紙の使い方について説明し、記入を促す。 ①模造紙の右半分もしくは右3分の1を大きく四角で囲む ②囲みの上部に「発揮している力」と記入する ○分析方法について説明する。 ①記入した付箋を出し合う ②付箋をグルーピングする ③グループそれぞれに「○○する力」「○○力」といったタイトルをつける ・タイトルは太フェルトペンを使って記入する ○協議の活性化を図るため、実態応じて、グループ協議の途中でギャラリーウォークを取り入れる。	6 7 8
②単元の学習過程について考える 【個人】（5分）	○付箋の記入の仕方について説明し、記入を促す。	○流れ3の①で出し合った児童・生徒の姿や活用・発揮している力の実現のために、その単元でどのような学びを積み重ねていたかを考え、付箋に記入する。	9 10

<p>【グループ】 (10分)</p> <p>○分析方法を説明し、グループごとに協議を進めるよう促す。</p> <p>○協議中は、各グループの協議を適宜支援する。</p> <p>③他教科、他領域の関わりを考える 【個人】 (5分)</p> <p>○付箋の記入の仕方について説明し、記入を促す。</p>	<p>○付箋記入時は次の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色を指定 ・単語ではなく単文で ・黒サインペンを使って ・1枚の付箋に1項目 <p>○模造紙の使い方について説明し、記入を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙の左半分の余白部分に、流れ3の①でかいた四角囲みにつながるよう、太い矢印のような形をかく <p>○分析方法について説明する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①記入した付箋を出し合う ②グルーピングする ③順序性があれば、付箋を並び替え、学びのプロセスが見えるようにしてもよい <p>○他教科、他領域における学びで流れ3①及び②で出し合った児童・生徒の姿や活用・発揮している力、単元の学びを支えたり充実させたりするものはないか考え、付箋に記入する。</p> <p>○付箋記入時は次の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色を指定 ・単語ではなく単文で ・黒サインペンを使って ・1枚の付箋に1項目 <p>○付箋は書いたものから模造紙に貼っていくよう促す。(協議などは持たないが、時間があればグループ内で読み合ってもよい)</p>	<p>○付箋記入時は次の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色を指定 ・単語ではなく単文で ・黒サインペンを使って ・1枚の付箋に1項目 <p>○模造紙の使い方について説明し、記入を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙の左半分の余白部分に、流れ3の①でかいた四角囲みにつながるよう、太い矢印のような形をかく <p>○分析方法について説明する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①記入した付箋を出し合う ②グルーピングする ③順序性があれば、付箋を並び替え、学びのプロセスが見えるようにしてもよい <p>○他教科、他領域における学びで流れ3①及び②で出し合った児童・生徒の姿や活用・発揮している力、単元の学びを支えたり充実させたりするものはないか考え、付箋に記入する。</p> <p>○付箋記入時は次の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色を指定 ・単語ではなく単文で ・黒サインペンを使って ・1枚の付箋に1項目 <p>○付箋は書いたものから模造紙に貼っていくよう促す。(協議などは持たないが、時間があればグループ内で読み合ってもよい)</p>	<p>11</p> <p>12 13</p>
<p>4 共有 【グループ間】(10分)</p>	<p>○グループ協議の内容について、ワールドカフェ方式で共有する。</p>	<p>○説明者を一人決め、次の点を踏まえて協議内容を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の具体的な姿から、どのような力を活用・発揮していると捉えたか ・その力の育成につながる学びの具体にはどのようなものがあると考えたか <p>○残りの人は、他のグループに移動して説明を聞いた後、自グループに戻って報告をする。</p>	<p>14 15 16</p>
<p>5 省察 【個人】 (5分)</p>	<p>○省察を付箋に記入する。</p>	<p>○次の視点を踏まえて省察を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人として、自校の児童・生徒の資質・能力の育成のためにこれから取り組むべきこと ・組織として、自校の児童・生徒の資質・能力の育成のためにこれから取り組むべきこと <p>○記入した付箋は模造紙に貼っていく。</p>	<p>17</p>
<p>6 まとめ 【全体】 (5分)</p>	<p>○演習のまとめをする。</p>	<p>○2、3名の参加者に省察を発表するよう促す。</p> <p>○次の点を踏まえて発表された省察の価値付けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習の目的に達していたか ・今後取り組むことが具体的に変わったか 	<p>18</p>

●研修後

- ・ギャラリーウォークをしたり模造紙を掲示板等に貼り出したりして、他グループが作成した模造紙や省察等を共有する機会をとることも考えられる。